

たま未来・産業フェア 出展者インタビュー



ものづくり企業のネットワーク 拡大につながる展示会

株式会社狭山金型製作所（埼玉県入間市）

取締役 経営企画室長
大場 祐太郎氏

多摩エリアの企業やパートナーとの出会いを求めて参加

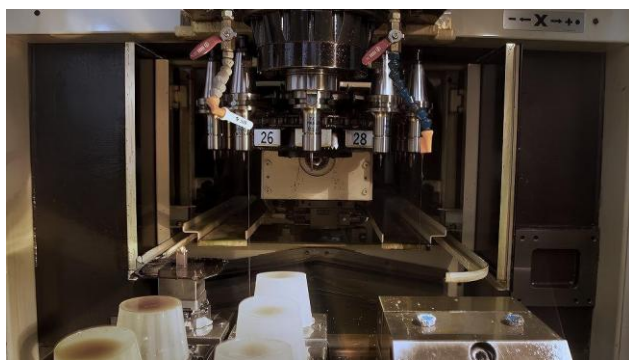
◆ 事業の内容と、第3回たま未来・産業フェアへの出展の経緯や成果を教えてください。

弊社は、会社のミッションに「人々の夢を実現することで世界の幸せづくりに貢献します」を掲げ、金型製作にとどまらず製品形状の検討から成形試作・量産支援まで一貫対応することを強みとしています。

出展のきっかけは、（一社）首都圏産業活性化協会様からの紹介です。弊社は多摩エリアに近接しているものの、これまで近くの企業さんとの繋がりがそこまで多くないと感じていました。そのため、こ

の多摩エリアで弊社の技術を求めている方や、新たなパートナーとなる企業との出会いを創出することを目的として、初めて出展を決めました。

実際に出展してみると、仕事の面では金型製造やプラスチック製品製作に関する案件の話を多くいただくことができました。また、同業ではないものの弊社が対応できない分野を得意とする協力会社さんとも出会うことができ、後日工場見学に来ていただくなど、身近な地域だからこそ非常に良い出会いと協創の機会が得られたと実感しています。



◆ 初出展に当たっての思いや、他の展示会と比較したたま未来・産業フェアの良さをどのように感じられましたか。

たま未来・産業フェアは初出展となるため、来場者層と弊社の事業内容・展示内容がマッチするか少し不安がありました。しかし、実際に参加してみるとビジネスの実績面でも非常に良い結果が得られました。

このフェアの良さは、八王子を中心に近くのエリアの企業が集まるため、アクセスが良く、何かあっても対面での直接のやり取りがしやすいという点にあります。他の遠方の大きな展示会と同じくらいの数の名刺交換ができる一方で、お互いに「近いエリアの企業同士である」という共通認識を持って話が始まるため、1つ1つの繋がりが非常に身近に感じられます。出展者同士の挨拶や交流もやりやすい環境が整っており、近さゆえのメリットを最大限に活かして、深く連絡を取り合える関係性を築けるところが魅力です。

一般層や子ども向けに金型や技術をわかりやすく伝える

◆ ビジネス層中心の金曜日と、ファミリー層が訪れる土曜日での展示の工夫を教えてください。

金曜日は他の一般的な展示会と同様に、弊社の強みである精密微細な技術力が伝わる製品を用意しました。

一方、ファミリー層が多く来場する土曜日はアプローチを変え、そもそも「金型とは何か」「射出成形とはどういう生産方法なのか」を分かりやすく解説しました。さらに、一般の方にはイメージしづらい「ミクロン」という単位を肌で感じてもらうため、5ミクロンの段差を触ってどちらが高いか当てるゲームを用意し、正解者にはプレゼントを渡すといった工夫をしました。



この取組により、子どもたちにも楽しんでもらえただけでなく、地域の方々に金型という存在を初めて知ってもらう素晴らしい機会となりました。

◆ 普段あまり接することがない消費者に直接接することの魅力をどのように感じられましたか。

先にも触れましたが、弊社は、会社のミッションとして「人々の夢を実現することで世界の幸せづくりに貢献します」を掲げています。「我々の持っている最先端技術で世界を幸せにしたい。世界の成長を牽引したい」といった思いがある中で、普段はBtoBの製品が中心ですが、その先にはエンドユーザーがいらっしゃり、その人たちの幸せに繋がるようなものを作りたいと考えています。

今回は、一般の来場者の反応や雰囲気から、皆様に楽しんでいただけたというところがあり、まずそれが率直に嬉しかったです。また、こうした活動を通じて、ものづくりの良さを社会に広げることが社会貢献にもつながると感じています。

新たな販路開拓につながる海外展示会と、それを支えるたま未来・産業フェアが必要

◆ 海外展示会にも出展されていますが、そうした展示会とたま未来・産業フェアとの違いを教えてください。

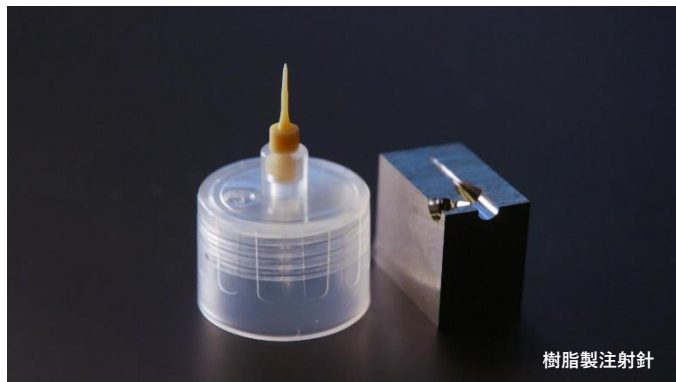
海外の展示会としては、医療機器分野への展開を図るため、近年はアメリカの医療系展示会に出展しています。

医療の現場で「世の中にない新たな医療機器」が生まれるのはアメリカが多いため、現地の顧客と出会い、弊社の技術を知ってもらって開発段階から相談を受けるために赴いています。弊社の理念である「技術で世界の幸せを作ること、成長を牽引すること」において医療は非常にマッチする領域です。為替の面で

のメリットだけでなく、技術で新しい命を救うという大きな理念を追求できる環境です。

一方のたま未来・産業フェアは、地元や身近なエリアでの直接対面しやすい企業様との繋がりを増やすためのものです。海外からの受注の際など、弊社単体だけでなく、他社の得意分野と協力し合うことでお客様の高度な要望に応えられるケースがたくさんあります。そのため、多様な強みを持つパートナーを見つけることができる点は、大きな魅力です。

弊社は、海外への販路拡大を進めていますが、海外生産をしようとは考えていません。日本のものづくり企業が互いに連携して、強い産業基盤を維持できるよう、国内製造にこだわり、パートナーと手を取り合って、世界の人々を幸せにする製品を生み出したいと思っています。



まだ見ぬ素晴らしい出会いを求めて、ぜひ出展を

◆ 最後に、たま未来・産業フェアへの出展を検討中の方へメッセージをお願いします。



弊社も今年は初出展で探り探りの状態でしたが、結果として素晴らしい出会いがたくさん生まれました。もし出展を迷っているのであれば、まずは応募してみることを強くお勧めします。

多摩エリアには、自分たちが知っているようでまだ知らない、優れた技術力を持った会社や、世界的に貢献している素晴らしい企業がたくさん眠っています。ただお互いに出会っていないだけで、同じ地域にこれほど魅力的な企業があるのだと知る契機になります。

近くに連携できる拠点があるということは、ビジネスにおいて非常に大きなメリットになります。エリア内での新たな強みや繋がり、メリットを生み出したいと考えているなら、ぜひ一歩を踏み出して出展してみてください。